

【 令和 6 年度 学校関係者評価報告書 】

令和 7 年 3 月 29 日
学校法人柏樹学園 育成幼稚園

○評価委員構成・・・学識経験者 4 名
保護者 8 名
地域居住者 4 名

◇保育活動を通して…

- ・ 日常の教職員と子どもたちのやり取りや関わりの様子から、細やかな心遣いが感じられる。
- ・ 担任以外の園児に対しても、教職員間の連携のもと情報共有がなされており、その対応が丁寧で安心できる。
- ・ 少人数であるので、教職員が子ども一人ひとりをよく見ることができ、個人はもちろん集団での行動にも気を配った指導がなされている。
- ・ 日常の保育、園庭での遊び、行事活動など、いろいろな場面で子どもたち自身が関わることに意味があり、他者との付き合い方をはじめ幼児なりに生きていくための経験があると思われる。
- ・ 教職員の言葉遣いが丁寧なので、子どもたちにも良い影響をもたらし、きれいな言葉を使うことができるように園の子どもたちの姿から感じる。
- ・ 初めての社会生活において、「子どもを最優先に考えてくれる」という姿勢が、その後の子どもの成長に素晴らしい影響を与えてくれると感じる。
- ・ 子どもの個性や成長ペースに寄り添い、無理強いせず成長を見守ってくれていると感じる。
- ・ 運動会などの対外行事について、前年度に比べて改善がなされていると感じる。
- ・ 園活動や行事に携わる保護者（役員）の率直な意見に耳を傾け、その後必要な場面で反映されていると感じる。
- ・ 子ども同士の小さなトラブルや困ったことがあったときなど、解決を急がず、子どもの気持ちに向き合い、気持ちを丁寧に聴き、解決につながるよう対応してくれる。
- ・ 始業式や終業式で園児たちへ伝えられている安全教育は毎回内容が異なり、有効だと感じた。
- ・ 異年齢児と関わる活動が年間を通じてあり、自然に年下の子を労わったり、年上の子を慕う姿があり、とても良い傾向で望ましい。
- ・ 年に 2 回の個人懇談では…
 - 普段なかなか話せないことをゆっくり話せる・聞ける機会となつて、ありがたい。
 - 親はネガティブに思うことも先生はポジティブに捉えてくれるので支えになる。
- ・ 朝の登園時における、保護者等の道路上での行動・マナーには改善が望まれる。
- ・ 降園時の歩行コース送りの経験から、交通安全の意識を高め、右側歩行・横断歩道の渡り方などに留意する姿が見られている。
- ・ ただ遊ぶだけではなく、この先の小学校生活を見据え、規律や日常生活のルールなど、バランスよく考えてくれている。
- ・ 登園渋りやお弁当が食べられないなどの問題が生じた時、先生も一緒に対応を考えてくださり、乗り越えた時は一緒に喜んでくれて感動した。
- ・ 担任以外のどの先生も、子ども一人ひとりのことをよく見て、理解してくれていることが素晴らしい。
- ・ 家庭と幼稚園で連携をとって、子どもの成長をフォローしてくれることを強く感じる。

◇今後の展望として…

〈 保育に対する観点から 〉

- ・子どもを取り巻く環境や状況がどんどん変わりつつある中で、今こそ大切にしていかなければならないことを忘れずに、実践してほしい。
- ・幼児期から自己肯定感を高め、他者と共存し、生きていく力や術を培っていけるように願いたい。
- ・子育てや育児の悩みや負担感が増長しすぎないように、家庭での子どもとの関わり方へのアドバイスや支援についてなども発信して行ってほしい。

〈 園児募集の観点から 〉

- ・日常の保育をもっとオープンにした方が外部の方に園の保育の良さが伝わるのではないか。
- ・在園の保護者の声（中でも途中入園の方が感じていらっしゃる園の良さ・体験談）を H.P.などで公表すると良いのではないか。

◇保護者の保育体験「いくママ・パパ先生」の活動を経験して…

〈 参加された保護者の方が保育者の姿から気付いたこと・望ましいと感じたこと 〉

- ・明るい雰囲気で接し、小さなことにも反応してあげる姿。
- ・自主性を尊重しながら、自発的な行動を見守り、待つ姿勢。
- ・優しく、時には厳しく、しっかりと子どもたちの声に耳を傾ける姿勢。
- ・言葉掛けのタイミング・言葉の選択が幼児にふさわしい。
- ・良くない行動をした時も一方的に叱ったり意見を押し付けるのではなく、一緒に考える姿勢。
- ・子どもの個性によって、柔軟に対応する姿。
- ・子どもの発言を前向きにとらえて応じる姿。
- ・子ども同士で意見が対立した時、どのくらい様子を見て、どこで介入するか等の援助の仕方。

◇未就園児の活動に参加して…

〈 来園された未就園児保護者の方の感想 〉

- ・すぐに我が子の顔と名前を覚えてもらい感動した。嬉しく感じた。
- ・子どものありのままの姿・個性を受け入れてくれると感じた。
- ・子ども個人と向き合い、対応してくださる姿に安心感を得て、信頼を寄せている。
- ・他の幼稚園のプレ保育にも参加したが、この幼稚園の活動に参加して、初めて我が子が「楽しくて帰りたくない。」と泣いた。
- ・「子育て通信」が励みになった。目の前の子育てに精一杯になり視野が狭くなったりするが、自身を振り返るきっかけとなり、先生からのアドバイスが心にしみる。